

下肢整形外科手術患者におけるエドキサバンの投与量及び DVT 発症に関する検討

1.研究の対象

2020年4月から2021年3月にTHA施行後、VTEの発症抑制を目的にエドキサバンを投与した入院患者56名を対象としています。

2.研究目的・方法

エドキサバンは下肢整形外科手術施行患者（膝関節全置換術、股関節全置換（THA）、股関節骨折手術）における静脈血栓塞栓症（VTE）の発症抑制に対して適応があります。下肢整形外科手術を行う患者は高齢かつ腎機能低下例が多く、腎機能に応じて投与量を調節する必要があります。当院では医師の経験から一律で1日1回15mgで投与されています。今回、エドキサバンの投与量と術後の深部静脈血栓症（DVT）発症の関連について後ろ向き調査し、検討します。

3.研究に用いる情報の種類

性別、年齢、体重、エドキサバンの投与量・投与期間、血清クレアチニン、クレアチニンクリアランス（Ccr）、DVT発症率、出血症状の有無、弾性包帯・間欠型空気圧式マッサージ器（フロートロン®）装着期間

4.外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5.研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 高山 直也

6.お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 高山 直也